

## 平成29年度鹿児島県地方創生推進有識者懇話会 議事概要

### 1 開催日時

平成29年9月11日（月）10:00～11:45

### 2 開催場所

ベストウェスタン レンブラントホテル鹿児島リゾート  
2階「大隅の間」

### 3 議事概要

#### (1) 岩切副知事あいさつ

#### (2) 委員紹介

#### (3) 効果検証及び意見交換

- ・ 地方創生加速化交付金（平成28年度事業）について （資料1）
- ・ 地方創生推進交付金（平成28年度事業）について （資料2）
- ・ 鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略における「目指すべき結果（評価指標）」の平成28年度実績について （資料3）

### 4 主な意見等

#### 《地方創生関連交付金活用事業》

#### ○ プロフェッショナル人材戦略拠点事業について

- ・ 鹿児島県出身で、大都市圏で働いているプロフェッショナル人材を呼び戻すような施策を強化していただきたい。
- ・ 多くの企業が事業承継の問題に直面しており、後継者をサポートできる人材を求めている。例えばマネジメントやマーケティングと言ったように、企業がどういう人材を求めているかを分析し、施策に生かしていただきたい。
- ・ 大学などと連携し、観光産業の人材育成にもっと力を入れるべきである。

#### ○ かがしま県産品販路一斉拡大事業について

- ・ 県産品のPRを積極的に行っており、ブランド力の向上につながっていると思われる。
- ・ 輸出を更に拡大するには、まず国内での競争に勝てるかが重要。国内で同じような農産物が競合する中で、本県の特性を生かし、長期的な視点で取り組むと良いのではないか。
- ・ K-GAP（かがしま農林水産物認証制度）等食の安全に関する取組について、今後は東京オリパラに向け、更に食の品質基準を重視する取組を行っていただきたい。

- ・ 食の輸出に向けた取組に当たっては、グローバルな視点が必要であり、K-GAPの基準等を周知しながら農畜産物のPR等を行っていただきたい。
- サンゴ礁調査研究基盤整備支援事業について
  - ・ 地元の子どもたちが小さい頃から自分たちの島について学ぶことは重要。
  - ・ サンゴ礁だけではなく、他の様々な地域資源についても、同様の取組を展開していただきたい。

#### 《鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略関連》

- ヘルスケア産業について
  - ・ 日本の福祉の研究のために海外から訪れる人がいるなど、今は健康・医療・福祉が産業になる時代であり、国際化を見据えた取組が必要である。
- 保育士の確保について
  - ・ 人手不足の解消には、保育士の待遇改善が必要である。
- かごしまグリーンファンドについて
  - ・ 本県ならではの発電事業を模索しながら、出力調整等の、事業としてのリスクに対するサポート体制、経済合理性等についても検討する必要がある。
- 放課後児童クラブ待機児童数について
  - ・ 補助金がなければ整備がなかなか進まない面もあるので、国の予算獲得に向けて引き続き尽力していただきたい。
- 農業の担い手確保事業について
  - ・ 若い担い手だけでなく、リタイヤ世代を含めた新規就農者の学ぶ場として、農業高校や県立農業大学の活用に力を入れてはどうか。
- 産後ケア推進事業について
  - ・ 産前産後のサポートについて、市町村へのバックアップ、サポートを引き続き行っていただきたい。

#### 《その他》

- ・ 部局横断的に取り組むことにより、相乗効果が現れるような事業の実施ができるとなお良い。

※ 外部有識者からの評価については、委員からの質疑や意見を踏まえ、「平成28年度に地方創生関連交付金を活用して実施した事業は、総合戦略の数値目標の達成に有効であった」と、取りまとめられた。